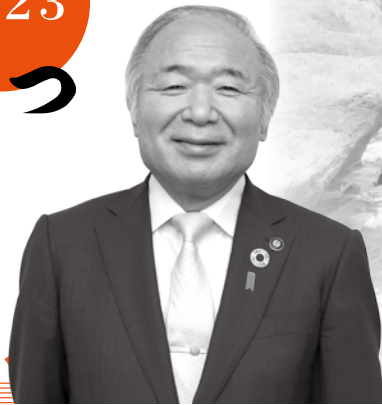


新年の ごあいさつ

2023

糸魚川市長

米田 徹



小滝川ヒスイ峡とヒスイ

皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、長引く新型コロナウイルス感染症対応に加え、ロシアのウクライナ侵攻による原油価格や物価の高騰など、国内はもとより世界的に様々な問題に直面した年でありました。一方で、本市にとって非常に嬉しいニュースもございました。

11月4日に当市のシンボルでもあるヒスイが「新潟県の石」に指定されました。11月4日は、国連の教育科学文化機関であるユネスコが発足した日でもあり、ヒスイやフォッサマグナなど、当地の地質資源を活用してきた糸魚川ユネスコ世界ジオパークとしても意義深く、記憶に残る記念日となりました。これを機に、国石や市の石でもあるヒスイの希少性や歴史的価値を広く周知し、世界最古のヒスイ文化発祥地として、引き続きジオパーク活動や教育ツーリズムを通じて地域振興に活用してまいります。

また、10月16日に開かれた第75回新潟県駅伝競走大会では、糸魚川チームが悲願の初優勝を飾りました。伝統と歴史のあるこの大会で、初優勝を成し遂げられたことを大変嬉しく思います。これも、選手の皆様の努力の賜物であることはもちろん、監督をはじめとする指導者の皆様やご家族、仲間の支えがあつてのものから敬意を表します。糸魚川市に元気と勇気を与えていただき、市民を代表して心から感謝申し上げます。

そして、昨年は駅北大火から6年となりました。

復興まちづくり計画に沿ってまちづくりを進めてきた5年間を振り返るとともに、これまでご支援ご協力いただいた皆様に感謝の意を表すため、12月10日に「糸魚川市駅北大火復興事業総合竣工式」を開催いたしました。これまで、

被災地の無電柱化や雁木再生、防火対策、水利調査など、国や県からも協力いただき、一步一步着実に進めてきました。被災地は新しいまちに生まれ変わり、復興施設駅北広場キターレでは、学校帰りの高校生や子ども連れの親子などが集まり、被災地周辺にはIT企業も誘致され、新たな人の動きも目にするようになりました。

大火の教訓を決して忘れることなく、市民とともに今後も防災対策に取り組むとともに、駅北地域のみならず、糸魚川市として安全・安心で、にぎわいと活力のあるまちづくりに引き続き取り組んでまいります。

地域経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。市では、昨年12月から「プレミアム商品券」の発行を追加したほか、内容を拡充した「今すぐ宴キャンペーン」の実施など、懇親会や誘客に対する支援を実施しております。皆様にも、これらの制度をぜひご活用いただき、地元消費にご協力賜りますようお願いいたします。

少子高齢化や人口減少、新型コロナウイルス感染症対応など、多くの課題を抱えておりますが、当市の目標とする都市像である「翠の交流都市 さわやか すこやか 輝きのまち」の実現に向け、貴重な地域資源を大切にしながら、更なる交流人口の拡大と持続可能なまちづくりに向けて、引き続き取組を進めてまいりますので、今後とも市政への変わらぬご支援と温かい励ましを賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして健やかで幸多き年となりますようご祈念を申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もよろしく願い申し上げます。